

献血も骨髄ドナー登録も、不要不急ではなく、大切な命を救う行動です！どうか、みなさまのご協力をお願い申し上げます。
骨髄ドナー登録は、2mlの採血をするだけで完了です！気になる方は、info.yumenoki@gmail.com にメールください。

ボクの入院生活

僕は小学一年生の時に骨髄移植をしました。
昨日まで元気に幼稚園に通っていたのに、急に入院になりました。
幼稚園も辞めなければならなくなり、不安でいっぱいでした。
病院には、たくさんの子どもたちが入院していました。
赤ちゃんもいました。

時々、他の病室からすごい泣き声が聞こえて、理由は分からないけれどとても悲しい気持ちになりました。
骨髄移植のことは、血を作っている僕の壊れた「工場」を建て直し、輸血をしなくても元気に生活できるようにするためだと説明されました。
毎日のように採血や点滴、輸血があったので、僕は注射の針が怖くなりました。

数百から数万分の一の確率で、僕の骨髄ドナーさんが見つかりました。
骨髄移植は、輸血のように点滴によって行われます。
骨髄移植の前にお腹の調子が悪くなったため、絶飲食の日が続きました。
テレビをつけると、食べ物番組ばかりなので、すぐに消しました。
おもちゃのケーキをかじりながら寝た日もありました。

移植の日は満月の日で、
僕の病室からきれいなお月様が見えました。

ドナーさんの名前は知らせてもらえないので、「満月のおじちゃん」と呼ぶことにしました。
移植には十時間かかりました。移植中は眠っていたから何も感じなかったけれど、終わった後は、しんどくて、しんどすぎて、その時の記憶はもうほとんどありません。
約一年の入院生活を終え、退院してからも、いろいろな制限があって、みんなと同じように出来ないことがあったけれど、僕は学校に行けることが嬉しくて、学校の友達が大好きで、元気になれたことが本当に嬉しかったです。

今年の春、僕は六年生になります。

いろんなことが、みんなと同じように出来るようになりました。
去年は、林間学校にも行けたし、山登りもできました。
僕に命を繋いでくれた「満月のおじちゃん」、病院の先生と看護師さんたち、そして、僕と一緒に病気と闘ってくれた家族や友達のおかげで、僕の今があります。



写真家:mamanocameraさん
このページのイメージ写真をご提供くださいました！
ご家族の軌跡を残す出張撮影をされています。
インスタを是非ご覧ください！

三国エリアの献血バス予定
2/5(金) 阪急オアシス神崎川店
2/8(月) スーパーマルナカ三国店
2/24(水) ニッセイ新大阪ビル

次は5月以降の見込みですが、未定です。
※上記の献血バスでは骨髄ドナー登録はできません。

三国エリアからアクセスしやすい
説明員のいる骨髄バンク登録会場
2/18 梅田駅直結！
(木) 阪急グランドビル 25 献血ルーム

他の会場もございます→
大阪府の登録受付窓口はこちら！



骨髄ドナーさんが見つからない人たちがいます。
その人たちのために、ボクらは活動しています！

適合するドナーが見つかる確率は、数百～数万分の一。一人でも多くの人に関心を持っていただけますように！
次号以降では、ドナー側の体験談や、患者さんのご家族からのメッセージ、最新の献血ルーム体験談をご紹介します！

フリーペーパー「ツドウ」発行者：ゆめの木 / 事務局：淀川区西三国3-11-16 個別指導塾ライジング西三国ゆめの木教室
後援：大阪府赤十字血液センター / NPO法人 関西骨髄バンク推進協会